

どうし議会だより

令和7年7月1日発行
山梨県道志村議会
NO. 67

contents

- P2 佐藤光栄議長を偲んで
- P3 正副議長就任あいさつ
- P11 活躍する団体紹介 (道志村建設業協会)
- P12 かんばん人紹介 (株式会社どうし養魚場 霧生 義明 さん)

みなさまの声を議会に

TEL: 0554-52-2112 FAX: 0554-52-2572 E-mail: gikai@vill.doshi.lg.jp

道志村
内の
滝 ● 榑地内 雄滝・雌滝



佐藤光栄議長 を偲んで

令和7年4月3日、病氣療養中のところ、72歳でご逝去されました。

光栄議長は、昭和27年に竹之本に生を受け、昭和46年に道志村役場に入職され、総務課、住民課、振興課などの地方行政の職務に従事されました。村役場を退職され、自営業を営まれる傍ら、令和2年5月に村議会議員に初当選され5年にわたり、議会議員として卓越した見識と豊富な経験を活かし、道志村の発展と振興に骨身を惜しまず、ご活躍を続けられました。

令和6年5月議員改選後の臨時会において第70代村議会議長に就任され、役場職員としての経験を活かし、政治手腕を遺憾なく発揮されて、ご活躍されていた矢先、突然帰らぬ人となられた事はまことに痛恨の極み

であり、残されたご遺族の方の悲しみは、いかばかりと拝察いたします。ただただ、哀悼痛惜の念にたえません。生前は人生の先輩として、また、議会人として、私たち後輩議員を導きくださいました。とりわけ、議長として就任された後は、議会報告会、議員協議会の開催、議会への提案意見等の目安箱の設置など議会改革に取り組み、村の発展に多大な影響を与えました。故人が村政発展のためにさげられた精神と功労は、ここしえに道志村議会史に留められる事と確信しております。

私たち議会議員一同は、故人の遺志を受け継ぎ、道志村、村議会の発展に全力で傾注することをお誓い申し上げます。

佐藤光栄議長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。



小菅村での研修



横浜市・道志村友好交流協定締結 20 周年記念式典



新庁舎のテープカット

おもな審議・可決事項

【会期】5月19日

承認第2号 専決処分の承認について（道志村税条例の一部を改正する条例）

承認第3号 専決処分の承認について（令和6年度道志村一般会計補正予算 第8回）

議案第38号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例

議案第39号 公の施設の指定管理者の指定について（道志村買い物環境施設 ローソン道志店）

追加日程第1 議長の選挙

追加日程第2 副議長の選挙



議長就任あいさつ

すぎもと たかまさ
杉本 孝正

村民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、村議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、第71代道志村議会議長に就任しました。大変光栄に思いますとともに、その責任の重をひしひしと感じております。また、この重要な役職をまかせていただいたことに對し、村議会議員、関係各位に深く感謝するものであります。

本村における課題は少子高齢化による人口減少、国道・県道の改良促進、公共施設の維持整備と多くの課題はありますが、村民の皆様とコミュニケーションを大切にし、定期的な会合や情報発信を行い、村執行部と議会議員が協力し円滑な議会運営に努め、村民の皆様が安全、安心に暮らせる村づくりのために的確な政策を実現できるよう努力してまいります。

今後とも、皆様方のご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。



副議長就任

あいさつ

おさだ かずお
長田 和夫

このたび、副議長を務めさせていただくことになりました長田和夫です。

まだまだ学ぶことも多い身ではありますが皆さんと力を合わせながら、よりよい議会づくりに取り組んでまいります。村民の皆さまの声に耳を傾け、丁寧な歩みを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

おもな審議・可決事項

●報告

- ・令和 6 年度道志村一般会計繰越明許費繰越計算書

●条例の改正他 (2 件)

- ・道志村家庭的保育等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正する条例

●令和 7 年度道志村一般会計補正予算 (第 1 回)

おもな財源	おもな使いみち
国庫支出金 △ 5,816 万円	総務費 (総務管理費) 3,227 万円
繰入金 1,403 万円	土木費 (土木管理費) △ 9,319 万円
村債 △ 2,590 万円	消防費 76 万円

●令和 7 年度道志村介護保険特別会計補正予算 (第 1 回)

- ・ 44 万円を追加

●請願

- ・「当面、消費税一律 5% への減税を求める意見書」の日本政府への提出についての請願書
- ・「再審法改正を求める意見書」採択に関する請願書
可決後政府各関係省庁に送付

村営住宅の新設により
移住希望者の移住・定住促進を促す

〔会期〕6 月 10 日～13 日
●報告 (1 件)
●条例改正 (3 件)
●補正予算
●請願 (2 件)



おさだ かずお
長田 和夫 議員

役場職員の現状は

総務課長

総数78人で対応

◎ 地方自治体を取り巻く行財政環境は、地方分権の進展、三位一体の改革など、行政に対する村民の要望は高度化、多様化しておりますが、村民ニーズを的確に捉え適切に対応する必要があると思うが、現在の役場職員の人数、男女比率は。

▲ (総務課長) 正職員は40名で、男性23名で57・5%、女性17名で42・5%となっています。

会計年度任用職員は38名で、男性5名で約13%、女性33名で約87%ですが、保育所のパート、学童保育所の指導員、村単教員等の合計となっています。

◎ ここ数年若手職員が退職し、他地方自治体に転職したようですが、若手職員への今後の対策と、人材育成、教育内容は。

▲ (総務課長) 若手職員の離職

については、本村のみならず県内の町村でも大きな問題として町村長会議等でも議論されていますが、働きやすさの向上が離職防止の要だと考えます。人材育成については、甲府市にある自治会館で山梨県市町村総合事務組合が開催する職員研修へ参加するとともに、多くの職員が参加できるように、講師を村に派遣してもらう出張研修を、毎年実施しています。

◎ 新規就農希望者に対して研修制度の充実、住居の確保など支援をしているのか。

▲ (産業振興課長) 山梨県と共同で行っている育成を目的とした研修制度を活用。この制度は、研修を受けると就農準備資金として、年間150万円(最長で2年間)が支給される可能性が

あります。また、就農後も経営が安定するまで、年間150万円の支援を最大3年間受けられる制度となります。

住居の確保は、村営単身者共同住宅の建設を計画、移住希望者も利用いただけます。

また、農業に関心のある若者の移住希望者には、山梨県の農地中間管理機構を通じた、農地の確保等の支援を行っていきます。

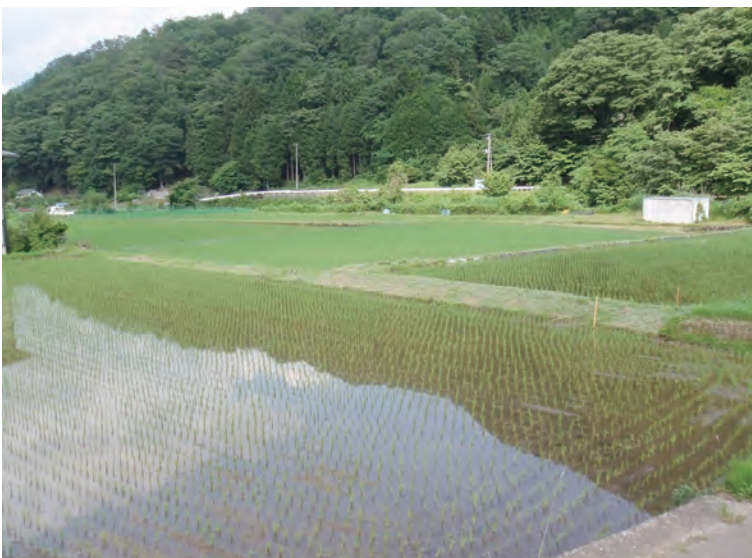
◎ 地元農産物の学校給食での活用は。

▲ (産業振興課長)

道の駅どうしを通じて、地元野菜を学校給食で活用しています。地元野菜は、全体の使用量の1割程度です。この他にも、6月中旬には、道志産のクレソンやジビエを使ったメニューを給食で提供する予定です。

今後も学校給食での活用を更に増やせるよう農家や栄養士と相談します。

(再質問あり)



耕作してある田園



山口 栄一 議員
やまぐち えいいち

人口減少対策での企業誘致の今後は

ふるさと振興課長 新規総合計画、総合戦略で
企業誘致を検討

◎ 村内企業において、企業努力で労働者の確保の為、社員住宅等の整備をしているが、企業に対し多少でも優遇出来る施策は。又、なければ、施策の制定をするのか、その施策が今後の企業誘致につながるか。

▲（ふるさと振興課長） 企業の労働者の確保のための社宅整備等の優遇制度はもとより、企業誘致に利用できる補助事業はありません。

今後移住定住対策を進めていく上でも、働く場所の確保は課題であると認識しています。

新規総合計画、総合戦略において企業誘致に係る施策について、その必要性や有用性を検討します。

◎ 村内の携帯電話の電波障害対策は。

▲（ふるさと振興課長） 各通信事業者のサービスエリア内の電波状況改善に係る国庫補助事業はありません。

非居住エリアの電波圏外解消のための「携帯電話等エリア整備事業」という補助事業はありますが、居住エリアについては、基本的に通信事業者の責任において整備するものと国では認識



設置してある電波塔

しているとの事です。

電波状況の改善は、各通信事業者へ村として電波状況の改善の要望をしています。

◎ 熱中症対策の義務化に伴う取り組みは。

▲（総務課長） 道志村職員が勤務する役場等の施設について

出典：厚生労働省ホームページ

は、エアコンの設置による対策は実施済みです。また、気温が高い時期での屋外の作業に従事する者については、十分な休憩時間の確保やコマメな水分補給など対策を講じるよう周知しております。また、熱中症の危険が予測される夏場には、広報誌や告知端末で熱中症予防の啓発を行っているほか、「役場庁舎」や「やまゆりセンター」をクーリングシエルターに指定し、住民の皆様が暑さをしのげる場所の提供も行っています。

（再質問あり）



な かい よしあき
仲井 義晶 議員

広報どうしの郵送廃止は

総務課長 上昇傾向にある経費抑制を図る

Q 郵送廃止の理由としては、24年10月1日からの郵便料金の値上げに起因すると思われるが、数量、費用にどれほどの逼迫性があるのか。

A (総務課長) 当初予算の編成

において、上昇傾向にある経常経費の抑制を全職員に指示したところです。そのうえで、出納室より郵送していた支払通知を廃止するなど、経費の削減に努めています。

なお、広報の

直送対象者は現在132件で、郵便料金については1件につき126円です。で、年間で20万円程の予算額となっています。

Q 個々の判断に任せず対象者への説明責任は。

A (ふるさと振興課長) 今回の広報の郵送廃止

に関する村の対応は、まず、車の無い高齢者世帯などは、電話での申し込みをいただいたのち、確認の上これまでと同様に郵送を継続します。

また、ライブビジョンの端末での広報の閲覧方法を再度周知いたします。

紙媒体を希望する世帯については、公共施設に取りに行っていたかどうか、自治会への加入、5件以上の広報配布コミュニティへの郵送の選択制です。

今回の対応が、郵送経費云々だけでなく、格差是正による公平性の担保であることと認識頂き、ご理解してください。

Q 令和3年度に行った、中間検証の結果を次期総合計画策定に役立てるのか。

A (ふるさと振興課長) 令和3

年度に村が実施した現行の道志村総合計画の中間検証アンケートの道志村施策の評価において、公共交通の整備への不満が最も多いので、そのデータを基に最優先で事業を実施すべきとの趣旨であると思います。

村としてもそのデータは把握していますが、実際にはバス路線の利用者は少なく、アンケート結果と乖離しているのが実情です。また、住みたくない理由の上位には「買いたい物が不便だから」「交通が不便だから」については、公共交通が理由ではなく、峠を介しての長時間の移動があるので不便である事と認識しております。

今回の新規総合計画のアンケートでは、一歩踏み込み、施策の優先度及び費用規模について設問を設けました。これにより村として、どの事業に経費をかけて優先的に講じるか住民の民意を確認できるため、以前のデータではなく、最新の結果を基に施策の優先度を決めていきます。(再質問あり)

2/20

山梨県後期高齢者 医療広域連合議会

令和7年第1回定例会が行われた。
条例改正5件、第三者行為による求償を目的とした「訴えの提起について」、令和6年度の一般会計及び特別会計の補正予算、令和7年度の一般会計及び特別会計予算が可決された。また、委員会条例第4条の規定により新たに2名の議会運営委員会委員が選任された。

次年度より、低所得者の保険料負担軽減のため、保険料軽減に係る基準額が改正され令和7年4月1日に施行。また、高額療養費制度の上限額引き上げについても検討されていた経緯があった。

4/22

建設厚生常任委員 会活動報告

観光客が来訪しやすく、また村民の憩いの場として、道志村が誇る観光施



観光施設視察及び清掃活動の様子

設（雄滝・雌滝、的様、室久保農村公園等）の安全管理整備状況について、全議員で視察及び清掃活動を実施しました。その経緯について建設厚生常任委員会でまとめ「道志村観光施設の現状視察における危険箇所指摘事項について」6月12日全員協議会に提案しました。検討の結果、危険箇所について早急に修理、改善を指摘、また道志村の観光資源の継続的な管理をおこなう事案について「道志村観光施設等運営委員会」

の開催を求める決議を行いました。また、今後も他の観光施設の視察等を継続的に行うことを合わせて決定しました。

4/22

総務文教 常任委員会

総務文教常任委員会では、道志中学校で行われている15の提言の実現に向けた2点について企画実施することになりました。

- ・絵馬の作成販売（絵馬掛け所の作成）設置

- ・観光PR（ラップ作成）

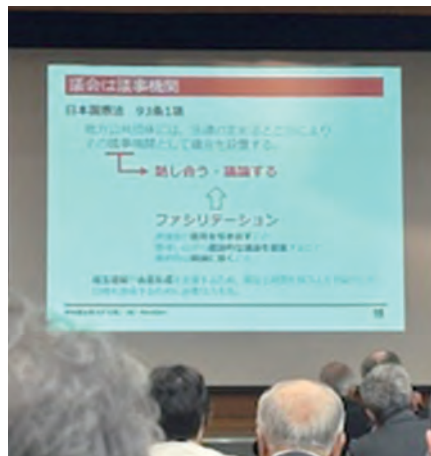
実施に向け予算確保の方法を（ふるさと納税、子供未来基金の設置）検討しています。



◀ 道志観光PR動画にアクセス（道志中卒業生制作のラップを視聴できます）

5/26

自治功労者表彰・ 町村議会議員研修



講習会風景

町村議会議員として長年在職し、功労のあった人に、全国町村議会連合会、山梨県町村議会連合会表彰、25名の表彰式があり、その後、徳島県川島町長を歴任し、現在早稲田大学デモクラシー創造研究所 地域経営部会長である、中村健さんによる、町村議会と地方創生、議会力によって地方の未来が変わる」と題し講演があり、本村の抱えている課題に対し議会のかわり方やヒントをわかりやすく講演していただきました。

5/27・
28

令和7年度町村議会 議長・副議長研修



挨拶する全国町村議会連合会会長

東京国際フォーラムホールAにおいて、926町村が全国から集まり、渡部孝樹会長（北海道厚真町議会議員）の挨拶後、本年が平成7年の阪神・淡路大震災から30年の節目であり、例年以上に国と地方が一丸となって防災・減災対策の機運を高める必要があることから、それぞれの議会が住民の生命・財産を守るための取り組みを強化することを旨として、内閣府政策統括官（防災担当）高橋謙司氏、他2名の講演があり、防災・減災対策における議会の役割について再認識しました。

5/28

社会資本整備推進 山梨県議会連盟臨時 総会（決起大会）



決起大会

県下選出国會議員・山梨県知事・県會議員・市町村議員の出席のもと行われました。

近年、日本各地で地震・台風・豪雨による災害が激甚化・頻発化しており、急峻な山岳地形と脆弱な地質が多く分布する本県では、水害や土砂災害などの大規模災害から被害を最小限に留め、県民の生命・財産を守り、強靱な県土づくりに取り組むことが重要であることから、県議會議員連盟を発足させ「県民生活の更なる豊かさの実現に向けた、社会資本整備に必要かつ十分な予算の確保について」国に要望を行っていくことを目的としています。

3月定例会以降のおもな活動

4月4日	小学校入学式 中学校入学式
4月12日	北富士演習地記念 式典
4月15日	山梨県広報編集委 員長会議
4月17日	全員協議会

建設厚生常任委員会
(観光施設点検清掃)

4月22日



総務文教常任委員会

5月8日	全員協議会
5月19日	第2回臨時会
5月26日	功労者表彰・議員 研修
5月27日 ・28日	全国町村議会議 長・副議長研修
5月28日	社会資本整備推進 山梨県議会連盟臨 時総会(決起大会)
5月29日	総務文教常任委員会
6月4日	議会運営委員会
6月5日	広報常任委員会
6月10日	第3回定例会 初日
6月12日	建設厚生常任委員会 総務文教常任委員会
6月13日	第3回定例会 最終日

A

Q

平成26年6月定例会

森林整備計画は

森林整備計画に沿って推進を図る。
計画的に保育、間伐や伐採を推進する必要があると考えている。

その結果今は



森林環境譲与税を使って災害発生の恐れがある山林を優先に森林整備を進めている。現在の森林整備計画は令和6年4月1日～令和16年3月31日まで。

議会の考え

近年は異常気象による集中豪雨等が多発しており、人家付近での土砂災害や倒木による被害の危険性が高まっていることから、防災対策としての森林整備が必要となっている為、議会でも効果的に進めて行ける様、注視していきます。



道志村
建設業協会
会長 志村 茂さん
しむら しげる

村内の防災減災に向け協力

日頃より村民の皆様には当協会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

道志村建設業協会は、昭和46年4月1日に設立し、現在村内の4社で構成されており、道志村立小中学校、校庭の危険な立木等の撤去をボランティア活動の一環として行っております。

当協会は県、村と災害協定を結び、災害発生時に速やかに連携し、危険箇所の点検・応急処理等を行い、緊急車両等が通行できるよう復旧に努めます。

及び、物流等のライフラインの整備においても迅速に対応していきます。

近年各地で発生している突然の大雨による影響は大きく、類をみない事態が起こっております。

そのため、建設業協会が果たす役割として村内の防災減災に向け常に新しい知識、手法を取り入れた活動を協力し実行していきます。

人手不足や物価高騰等の影響や抱えている課題はありますが、建設業協会は一丸となって皆さまが安心して日々生活できるよう最善を尽くします。

最後になりますが、運営にご理解・ご協力よろしく願います。

村民の声

目安箱 5月開封 3通あり、内1通は公表・回答を求めている為、2通を掲載します。

道志の湯利用について

65歳以上の高齢者に道

志温泉施設利用料金助成券が配られ利用出来るようになっていますが、温泉から遠い所に住んでいて車の運転が出来ない人にとっては、利用したくても行くことが出来ません。この点について利用状況

はどうなっているか、又

利用できない人の為にできることはないのかお聞きしたい。村民が広く利用出来る様お願いします

返信

・温泉までの交通手段がない人は近所、知人、親戚などの人たちと一緒に利用しています。・難しい問題だと思われま

広報どうし4月より宅配廃止に反対する！

私は広報どうしが「4

月より宅配しない」のチラシを見てびっくりしました。この件について、議員の皆さんは、役場から何らかの説明を受けたのでしょうか？ 長年郵送含め、全村民に等しく配達

返信

されてきた広報が全村民対象でなくなるとしたら、「広報」の意味がなくなりま

6月定例会一般質問に仲井議員が質問しておりますのでこちらを参照下さい。



室久保川のどうしの湯の下流にあります（株）どうし養魚場です。

平成7年に、道志村指定管理者として、（有）さがみ水産 道志養魚場から引き継ぎ、現在は（株）どうし養魚場として、ヤマメ、イワナの養殖を主体として営業しています。

私は、令和元年に道志養魚場にきました。さがみ水産の社長から、もう閉めるので最後に見てきて、と言われてきました。

来た時は、設備の老朽化、台風や想像以上の大雨の度に、水が止まり、砂、ヘドロで池が埋まり、養殖が出来るような状況ではありませんでした。十数年、毎年数百万円の赤字続きで正直、もうダメかもしれないと思いました。お魚が出来れば何とかなると思い、頑張ってきました。

孵化場の施設も使える状況ではなかった。災害対策をして作り直し、養魚場に砂や葉っぱが入って来ないように、自分でできる限りの対策をして来ました。

道志産のヤマメ、イワナの 量産を目指して

株式会社どうし養魚場 代表取締役

きりゅう よしあき
霧生 義明 さん



一昨年は、大した雨ではありませんでしたが、今まで無いような物凄い量の砂やヘドロが孵化場の給水管から入り、水が止まるのを防ぐことができず、6万尾のヤマメ、イワナの稚魚がほぼ全滅し、対策はしましたが昨年は、3万尾の稚魚が死にました。

まだまだ対策必要ですが、今年は、ようやく道志川産のヤマメ、イワナが出来そうです。

辛い話ばかりでしたが、道志村の方々、携わる方々のお力添えなしでは、私は諦めて逃げていたかもしれません。

今年初めて、稚魚の協賛放流をすることができました。

今後は、道志産のヤマメ、イワナで道志村・道志川に少しでも貢献できるよう、笑顔で頑張ってください。これからもよろしくお願ひします。

9月 定例会

9月9日（火）開会予定

広報常任委員会
委員長 佐藤 真澄
副委員長 半田 博敏
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 広一

編集集一後一記

村民の願いであったコンビニがオープンセシモニーの後に開店しました。その後、一般のお客様が数多く来店しローソンのマスコットキャラクターと一緒に写真を撮ったり、店内で買い物を楽しんでいました。

今後も売り上げを伸ばせるようローソン道志店をよろしくお願ひします。

また、新道坂トンネルも事業化となり少しずつ進んでおります。議会としても一日でも早く工事が着工出来るように努めていきますので、村民の皆様の応援をお願いします。

広報作成を始めて一年が経ちましたが、まだまだ思うようにいきません。皆様に支持を受け、読んでもらえる議会だよりを目指していきます。
（半田博敏）